

# 河川整備基金助成事業

## 水辺の体験教室開催と人材の育成及び スタッフの若返り対策

### 報告書

助成番号：2020-6113-004

笹尾川水辺の楽校運営協議会  
会長 松尾 一四

2020 年度

## 1. 事業概要

### 1.1 事業の概要

福岡県遠賀川水系笹尾川に笹尾川水辺の楽校が整備されたことを契機に、水辺の楽校を活用するイベントとして、笹尾川水辺の楽校周辺の小学生を対象にカヌー、水生生物調査などの水辺体験教室（夏秋）、水質調査等を実施する。この活動は、周辺地域の自治会関係者が主体として行い、カヌー指導者安全講習会を実施するなど、周辺の住民だけで、川の体験を指導できる大人たちを育てて実施するものである。

近年においては、国土交通省遠賀川河川事務所、北九州市水道局水質試験所、北九州市立大学、小学校、市民センター等協力を得て、地域だけでは出来ないような水質調査や水辺の調査等（いきいき子供講座、みずしるべ）も行っており、水辺の楽校での活動の幅が広がってきている。

特に、河川協力団体の一員として、遠賀川流域連携の事業に積極的に参加し、活動を行っている。その他にも、河川敷の清掃、草刈りを行い、水辺環境の管理を行う。

### 1.2 活動の目的

笹尾川は、地域の重要な舟運水路の一部であったが、鉄道などの交通網の発達によって、その存在が忘れられていた。河川は、子どもには危険な場所と認識が強く、親水空間としてほとんど活用されていなかった。また、笹尾川は長い歴史を持つと共に北九州市の貴重な水道水源となっており、その水源である水環境を保全するためには、周辺住民の川への関心を高め、水環境への意識を持ち、一人一人がゴミを捨てない、水を大切にす等の行動していくことが求められている。

そこで、自然環境溢れる環境学習体験の場として、子ども達に水辺で遊ぶ機会を提供し川への関心を高めるとともに、子ども達に教える機会を設けることで、教える側もあらためて、川や水環境への関心を高め、川を自分たちの手ではぐくみ、守ろうという心を育てていくため、河川を通じた地域連携である「水辺の楽校」の体験教室を通じて、指導者育成を行っている。

### 1.3 事業団体の概要

- 平成14年1月 国土交通省「水辺の楽校プロジェクト」に登録
- 平成14年 笹尾川水辺の楽校推進協議会を設立し、基本計画を策定
- 平成15年 施設整備着工に伴って、笹尾川水辺の楽校運営協議会に改称
- 平成16年7月 「笹尾川水辺の楽校」開校式を開催
- 平成27年3月 「笹尾川水辺の楽校」10周年を迎え、現在に至る。

なお、北九州市八幡西自治区会連合会の役員、くすばし少年消防クラブ、周辺小中学校の職員及びそのPTA等の関係者で会員を構成し、国土交通省遠賀川河川事務所、北九州市、北九州市立大学もオブザーバーとして参加している。

## 2. 活動内容

今年度は、コロナ感染防止の立場から、事業の中止、縮小を強いられた中、共催先からの要請により、感染対策を取り入れた事業を開催することが出来た。

活動内容を表-1 に示す。

番号	日付	行事名	参加者					備考	
			スタッフ	子ども	大人	行政	合計		
1	6月1日	総会 書面表決	50				50	コロナ禍による	
2	6月26日	ごみの分別調査	9		3		12		
3	7月16日	第1回事務局会議	23			3	26		
4	7月25日	除草作業	16	1			17		
5	8月1日	いきいき子ども講座(みずしるべ)	23	15	40	8	86		
6	7月29日	橋脚壁画	高压洗浄	3		4	1	8	
	8月6日		シゴキ	5				5	
	8月9日		下地処理(下塗り)	4		1		5	
	8月10日		下絵書込み	4	10	1		15	
	8月22日		壁画初日	5	9	1	4	19	
	8月23日		壁画2日目	5	9	1	2	17	
	8月29日		壁画3日目	5	9	1		15	
	8月30日		壁画4日目	5	9	1	4	19	
	9月26日		壁画完成	4	3	1		8	
	10月11日		除幕式&水辺で遊ぼう		25	2		27	
				小計	40	74	9	10	138
7	8月7日	ナイトリバー	第1回実行委員会	7		3		10	
	8月25日		第2回実行委員会	7		4		11	
	9月4日		第3回実行委員会	7		3		10	
	9月24日		第4回実行委員会	7		3	1	11	
	10月6日		第5回実行委員会	7		8		15	
	10月14日		第6回実行委員会	7		8		15	
	10月20日		第7回実行委員会	7		8	2	17	
	10月23日		現地会場整備(草刈り)	4				4	
	10月24日		現地墨出し	6				6	
	10月26日		照明確認	4				4	
	10月30日		前日準備、墨出し	10				10	
	10月31日		ナイトリバー	35		500	15	550	
	11月1日		後かたづけ	5				5	
				小計	113		537	18	668
8	9月19日	TOTO協働作業	23	2	55		80		
9	10月11日	除幕式&水辺で遊ぼう	31	73	100	15	219	48名申込	
10	11月10日	ごみの分別調査	6		3		9		
11	1月21日	水防災リモート講習会	13				13	リモート	
12	1月23日	河川協力団体リモート全体会議	5				5	リモート	
13	2月24日	竹炭盛替え&貝生息調査	8				8		
14	3月10日	竹炭散布(肥料効果調査)	4				4		
15	3月14日	くすばし少年消防クラブレスキュー講習会	5	4	2		11		
16	3月16日	かわまちミーティング	5				5	リモート	
17	3月17日	サケの放流大会	16	2	10	6	34	スタッフのみ	
18	3月19日	九州河川協力団体リモート全体会議	5				5	リモート	
19	3月21日	視察研修会	21	(7)			21	熊本立野ダム	
20	3月25日	遠賀川河川協力団体連絡会議	6				6	リモート	
	合計		422				1,417		

## 2.1 いきいき子ども講座 2020.08.01

楠橋市民センターと共催事業であるが、コロナ禍で子どもの活動する場所が制約されて元気が無いので、是非感染対策を行い実施の要請があり、人数を制限し催した。

講座には、小学生及び指導者で計86名が参加し、主は、「みずしるべ」の調査で、1軸：自然のすがた、2軸：ゆたかな生きもの、3軸：水のきれいさ、4軸：快適な水辺、5軸：地域とのつながりの5軸で調査・評価をした。

具体的には、笹尾川水辺の楽校で、川の流れを観察したり、水を採取し色を見て、においをかいでみたり、水とふれいあいを体験し、その採取した水で、透視度を計測したり、事前に捕獲した魚について学習する。また、自治区の地域に詳しい方に笹尾川と地域とのつながりについて説明してもらっている。

他にカヌー体験、水生生物調査を実施した。カヌー体験では、水辺の楽校の活動と同様、カヌーの乗り方はもちろんのこと、水辺にふれる機会が持てた。



写真 2.1-1 水質試験



写真 2.1-2 水生生物調査



写真 2.1-3 カヌー体験

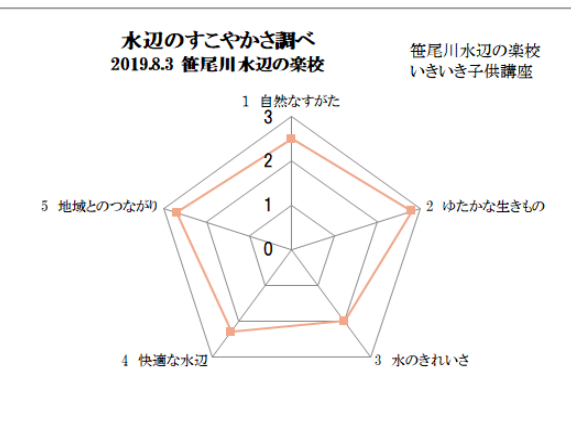


写真 2.1-4 測定結果

## 2.2 橋脚壁画 2020.08.9, 10, 22, 23, 29, 30 8.26

水辺の楽校のイベントを実施する場合、隣接する柴谷橋下の広場を利用しており、この場所を水辺環境整備の場として利用するため、香月中学校美術部の協力を得て、橋脚への壁画を実施した。

毎年、香月中楽校美術部の協力を得て夏休みを利用して実施しているが、コロナ禍の影響で夏休みが短く、土・日曜日を利用して実施した。

壁画のテーマは、姉妹団体の「コスモス花鑑賞会」である。



写真 2.2-1 初日 下絵描き



写真 2.2-2 2日目 筆入れ



写真 2.2-3 4日目



写真 2.2-4 6日目完成

## 2.3 TOTO 社員との協働清掃作業 2020.09.19

TOTO 株式会社小倉工場社員の皆さんと、10月11日に予定している「橋脚壁画除幕式& 笹尾川水辺で遊ぼう！」の会場整備をかねて、協働作業を実施した。

除草作業終了後、カヌーの試乗や投網体験をして大変喜ばれている。また、活動を通して水環境への認識を共有している。



写真 2.3-1 開会式



写真 2.3-2 活動風景



写真 2.3-3 カヌー体験



写真 2.3-4 投網体験

## 2.4 壁画除幕式 & 水辺で遊ぼう！ 2020.10.11

水辺で遊ぼう！に先立ち、橋脚壁画の除幕式を実施。香月中学校吹奏楽部の友情出演があり、除幕式に花を添えてくれた。

橋脚壁画除幕式に続き、「笹尾川水辺で遊ぼう！」を実施した。同時に同行された父兄を対象にアンケート調査を実施した。

### 2.4.1 壁画除幕式

香月中学校校長の挨拶に続き、香月中学校吹奏楽部のファンファーレによって除幕式を行った。

香月中学校美術部の青柳部長の素晴らしい挨拶を戴いた。



令和2年10月11日(日曜日)

9:00(受付開始)～12:30

八幡西区橋芝谷橋下 笹尾川水辺の家校(駐車場あり)

同時開催：橋脚壁画除幕式

参加対象：小学3～6年生  
募集人数：50名(申込先着順)  
参加費用：保険代100円(当日受付)  
準備品等：タオル、着替え、水筒(飲み物)

・単独でのカヌー乗船となります。  
・二人乗りカヌー、大型ゴムボートは使用しません。  
・雨天等により中止の場合は当日お電話で連絡します。

【申込方法】令和2年10月2日(金) [定員に到達次第募集は終了します]

【お申込・お問い合わせ先】北九州市上下水道局水質試験所

① 応募フォーム [北九州市ネット窓口] (左の二次元コードからアクセスできます)

② TEL 093-641-5948

③ FAX 093-641-5998 (票面をご利用ください)

※案内状はメール又は郵送でお送りします。

主催：笹尾川水辺の家校運営協議会

共催：北九州市上下水道局

後援：国土交通省九州地方整備局運賃川河川事務所、NPO法人香月・千代スポーツクラブ

笹尾川水辺の家校は(公財)河川財団、(公財)タカミヤ・マリバー環境保護財団

TOFO 水環境基金から助成を受けています。



図 2.4-1 案内チラシ



写真 2.4-1 香月中学校吹奏楽部



写真 2.4-2 除幕式



写真 2.4-3 美術部部長挨拶

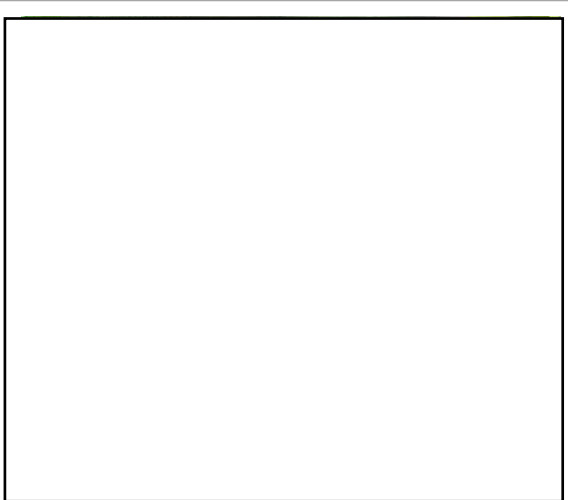


図 2.4-1 西日本新聞記事

### 2.4.2 水辺で遊ぼう！

川の自然体験として、子供たちにカヌーを体験させ、川の恐さ、安全確保の考え方を学んだ。笹尾川の生物調査を行い、川の生物の生態や役割を学ぶとともに、水質試験を行い、川の状態を学んだ。参加された保護者を対象にアンケート調査を実施し、今後の活動の参考になる貴重な意識調査が出来た。



写真 2.4-4 カヌー体験



写真 2.4-5 透視度試験



写真 2.4-6 水生生物調査



写真 2.4-7 クリークでの魚取

### 2.4.2 保護者のアンケート調査

当日参加された保護者に協力を得て、アンケートを実施した。その結果、

- ① イベントへの参加理由はカヌーに興味があった。また、子供と一緒に参加したかった。
- ② 今後も参加したい。しかも親子参加を希望 であることが判った。

このアンケート結果を参考に、親子参加による「親子カヌー教室」、「カヌーによるリバーパス」等のイベント企画により、「カヌークラブ」の設立を目指し、単年度だけでなく、長年にわたる「水辺の楽校」との関係構築する。

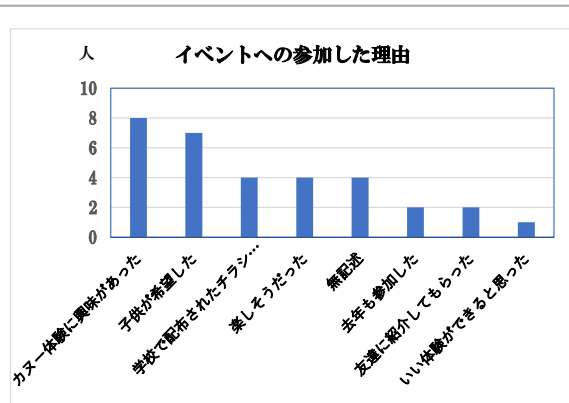


図 2.4-2 参加理由

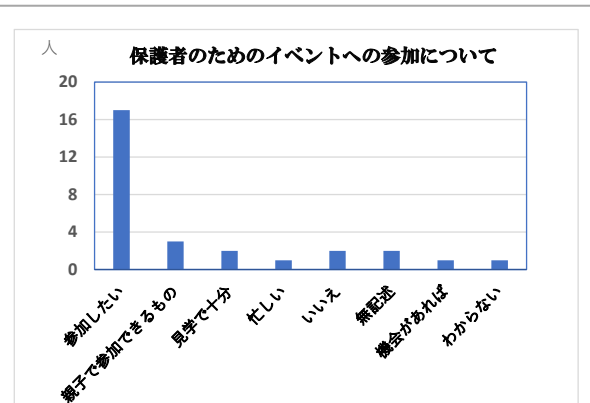


図 2.4-3 今後の参加意識



## 2.5 ナイトリバー 2020.10.31

昨年笹尾川独自で実施した「ナイトリバー2019in 笹尾川」は、今年の河川協力団体遠賀川連絡会議で、「遠賀川流域フェスタ in○○○」として、遠賀川河川事務所を事務局として取り組むことになった。

8月7日、次世代の中から実行委員長を選出し、会員以外の若手を中心とする実行員会を立ち上げ、準備に取り掛かった。

同時に、当会の実行委員長は、遠賀川流域フェスタの実行委員長も兼務し、ナイトリバーの実施に向けて、活動を開始した。

### 2.5-1 ナイトリバーin 笹尾川

実行員会では、準備から開催に向けて、以下の協議・取り組みを行った。

#### (1) 実行委員会 7回の開催

- ・地域の関係機関（表-1 牛乳パック依頼先）への「牛乳パック」の回収依頼。
- ・牛乳パック表装紙のはがし。
- ・牛乳パックキャンドルの描画・塗装依頼、回収

#### (2) キャンドルアートデザイン

館林氏が中心となり、デザインを提案。

#### (3) 演奏・出店等の交渉、準備

#### (4) 会場整備

- ・会場設営 ステージ、仮設トイレ、出店、駐車場、照明設備、発電機、消火器等の準備
- ・キャンドル設置準備（チャッカマン、固定砂、現地墨出、現地除草整備）

表 2.5-1 案内チラシ

番号	団体名
①	楠橋保育所
②	うさぎ保育所
③	楠橋幼稚園
④	楠橋児童館
⑤	なの花 子どもの家
⑥	楠北1町内 杉山和枝様
⑦	はまちゃん
⑧	水墨画教室
⑨	楠橋市民センターひまわりの会
⑩	楠橋小学校
⑪	深坂保育園
⑫	岩崎保育園
⑬	聖愛保育園
⑭	あかね幼稚園・池田保育園
⑮	ゆかいな仲間たち
⑯	楠橋地域交流センター
⑰	池田市民センター
⑱	あしん館
⑲	子ども食堂くすくす

### 牛乳パックキャンドルの作り方



図 2.5-1 牛乳キャンドルの作り方



写真 2.5-1 会場整備



写真 2.5-2 ステージ設置



写真 2.5-3 スクリーン設置



写真 2.5-4 キャンドル制作



写真 2.5-5 墨出-1



写真 2.5-6 墨出-2



写真 2.5-7 キャンドル設置



写真 2.5-8 ドローン空撮



写真 2.5-9 キャンドル点灯



写真 2.5-10 ブルーンムーン



写真 2.5-11 テーマ「祈」

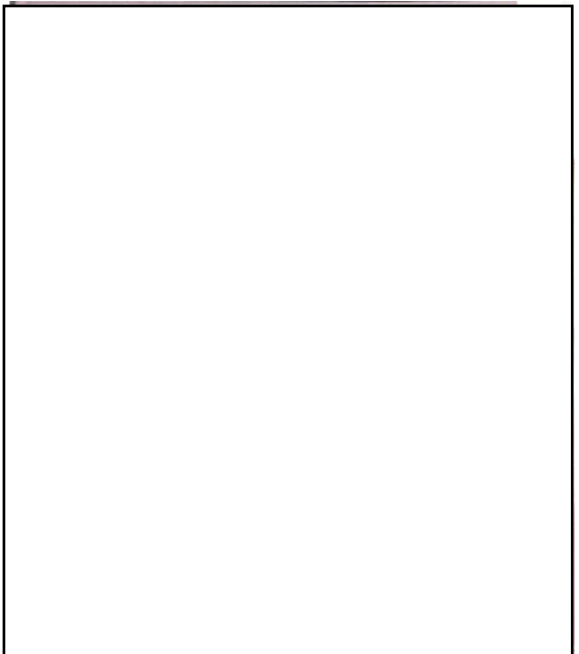


写真 2.5-12 西日本新聞

### 2.5-2 遠賀川流域フェスタナイトリバー

今年度は、当会の提案で遠賀川流域フェスタナイトリバーとして、8 会場で取り組んだ。

笹尾川水辺の楽校がホスト会場となり、紙コップ・キャンドル・砂の準備を行った。



写真 2.5-13 遠賀川流域 8 会場



写真 2.5-14 中島自然再生協議会

## 2.6 ごみの分別調査 2021.06.26 11.10

遠賀川流域住民の会と共同で、「全国川ごみネットワーク」に基づくプラスチックごみの分別調査を6月と11月の2回にわたり参加した。

ゴミの採取エリアは笹尾川水辺の楽校の約1.4haで行った。

ゴミは、①ペットボトル、②レジ袋、③飲料容器(缶や瓶など)、④その他に分別し、その個数を測定した。



写真 2.6-1 ゴミ採取

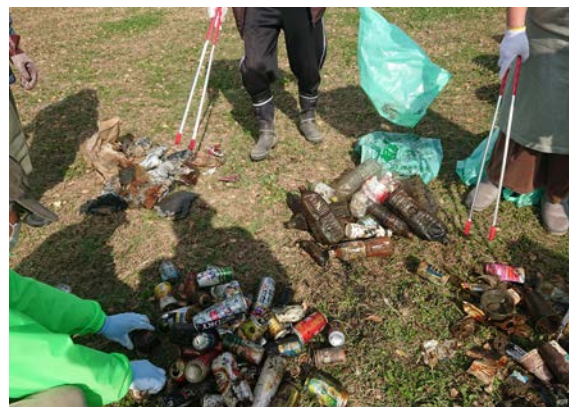


写真 2.6-2 ゴミの分別



写真 2.6-3 参加者

表 2.6-1 測定結果

・測定範囲；200m×70m				
・測定結果				(単位:個)
測定日	ペットボトル	レジ袋	飲料容器	その他※
6月26日	43	25	2	32
11月10日	22	21	5	67
※缶・瓶、トレー等				

## 2.7 竹炭盛替え、貝の棲息調査&竹炭の肥料効果試験 2021.02.24 03.10

毎年、遠賀川源流再生応援団の協力により、竹炭をクリークに浸漬し、水の浄化実験を実施している。

今回、竹炭の浸漬敷設、浸漬中の貝の棲息調査、浸漬竹炭の肥料効果試験を行った。

### ① 竹炭の浸漬敷設盛替え

クリークに浸漬した30袋の竹炭を取り出し、新しい竹炭20袋を浸漬した。

### ② 浸漬中の貝の棲息調査

浸漬から取り出した竹炭の袋を洗浄し、浸漬中に袋の貝の種類と数量を測定した。

### ③ 浸漬竹炭の肥料効果試験

浸漬した竹炭を姉妹団体が運営しているコスモス竹に散布し、肥料効果を確認試験に供した。



写真 27-1 浸漬中の竹炭



写真 2.7-2 盛替え後の竹炭



写真 27-3 竹炭の洗浄



写真 2.7-4 貝の選別



写真 27-5 採取した蜆貝



写真 2.7-6 採取したバカガイとカワニナ



写真 27-7 コスモス畑散布



写真 2.7-8 コスモス畑散布

## 2.8 レスキュー講習会 2021.03.14

くばし少年消防クラブを対象に、 芦屋海岸レスキュー隊で活動されている小田茂史氏(玄海ライフセービングクラブ)、和田英人氏(マリンガーデン)を講師に招き、レスキュー講習会実施。

- ① 119 番の掛け方
- ② 人工呼吸法
- ③ スローロープバック投法
- ④ ダブルチェーンノットの結び方

について、講習を受けた。



写真 28-1 講習会



写真 28-2 講師



写真 28-3 スローロープバックの投法



写真 28-4 スローロープバックの投法



写真 28-5 ダブルチェーンノットの結び方



写真 28-6 ダブルチェーンノットの結び方

## 2.9 サケの放流大会 2021.03.17

近隣の幼稚園児約 250 名の参加していただき、例年北九州市消防音楽隊を招いて、演奏、演舞楽しみ、サケの放流大会を実施していたが、コロナ感染予防の立場からこれらのイベントを中止し、今回は、スタッフだけのよるサケの放流大会を実施。



写真 2.9-1 サケのお話



写真 2.9-2 サケの稚魚



写真 2.9-3 サケ放流



写真 2.9-4 サケ放流

## 2.10 視察研修会 2021.03.21

今回、熊本白河水系に建設中の流水型ダム立野ダムの建設現場を視察研修した。

このダムの特徴、建設目的や建設後のまちづくり等の研修を行った。

帰路、開通直後の南阿蘇大橋、震災復興工事中の阿蘇神社を見学した。

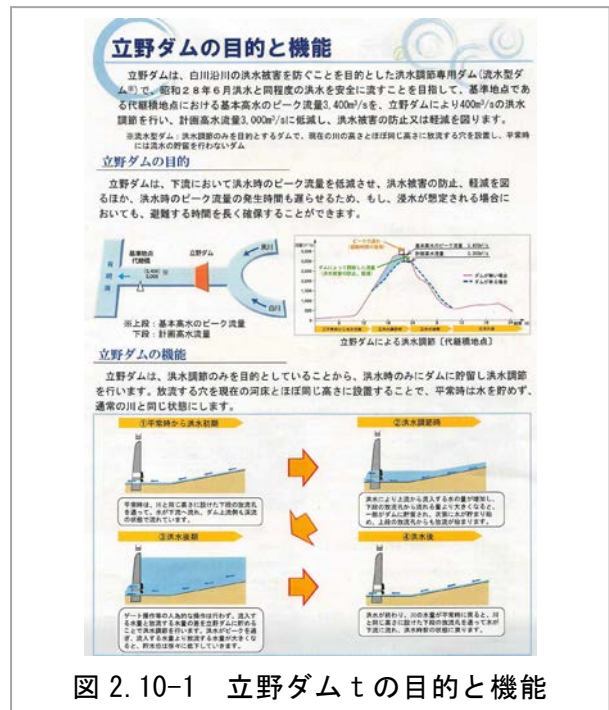


図 2.10-1 立野ダムの目的と機能



写真 2.10-2 ダムカード



写真 2.10-3 阿部所長の説明



写真 2.10-4 説明会



写真 2.10-5 説明会



写真 2.10-6 バスでの移動



写真 2.10-7 建設現場



写真 2.10-8 砂防ダム



写真 2.10-9 集合写真





写真 2. 10-10 開通直後の南阿蘇大橋



写真 2. 10-11 復興工事中の阿蘇神社

## 2. 11 WEB 会議

コロナ感染予防により、3 密を招く諸会議が中止になる中、河川協力団体の指導者である国土交通省河川事務所の関わる会議は、ZOOM によるリモート会議が実施された。

この会議に参加することによって、我々のスキルアップが図れた。



写真 2. 11-1 WEB 会議の様子



写真 2. 11-2 WEB 会議の様子

## 2-12 笹尾川水辺の楽校ホームページ及びフェスブックより情報発信

- ・ ホームページアドレス <http://mizubenorakukou.g2.xrea.com/>
- ・ フェスブックアドレス <https://www.facebook.com/h1606sasaogawa/>



図 2. 12-1 ホームページ



図 2. 12-2 フェイスブック

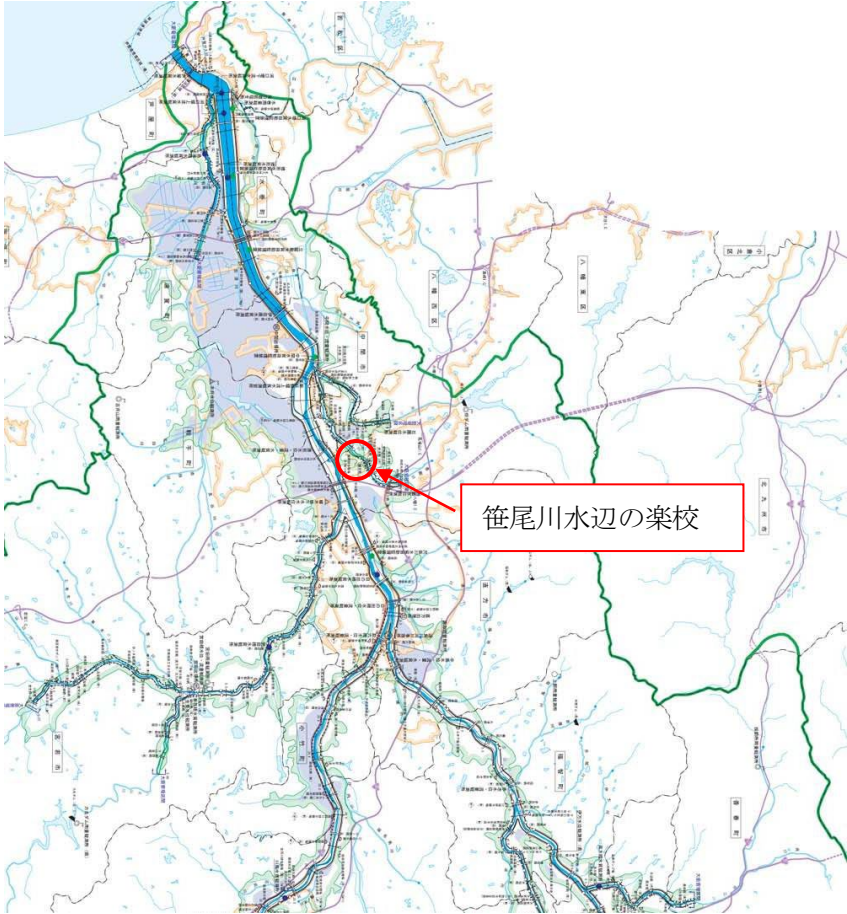


## 2-13 笹尾川水辺の楽校開校 15 周年記念誌「十五年のあゆみ」発行

平成 14 年 1 月水辺の楽校プロジェクト登録を行い、平成 16 年 7 月に開校した当笹尾川水辺の楽校運絵協議会の 15 周年を記念して、記念誌を発行した。



写真-2.13-1 15周年記念誌

以上

助成番号	助成事業名	所属・助成事業者氏名		
2020-6113-004	水辺の体験教室開催と人材の育成及びスタッフの若返り対策	笹尾川水辺の楽校運営協議会 会長 松尾 一四		
助成事業の主な実施箇所	主な実施箇所 遠賀川笹尾川 1k700 付近（北九州市八幡西区楠橋）			
				
	河川基金ロゴ等表示状況写真	遠景	近景	
				
延べ参加人数	一般	995 名	スタッフ・事務局	422 名
マスコミ等の反響	除幕式壁画、ナイトリバー(西日本新聞) 成果報告書参照			